

經濟論叢

第164卷 第4号

菊池光造教授記念號

献 辞	西 村 周 三	
日本の「財政調整」型社会保障	玉 井 金 五	1
不況期に開業・事業継承した小企業経営者	脇 坂 明	20
男と女のゲーム	川 口 章	34
福祉国家研究のジェンダー化の規範論的展開	居 神 浩	57
ドイツ化学企業C社の報酬システム	久 本 憲 夫	69
日本におけるホワイトカラー組合運動	松 尾 孝 一	89
業績考課給・業績管理の展開と イギリス人的資源管理	上 田 眞 士	113

菊池光造 教授 略歴・著作目録

平成11年10月

京 都 大 学 經 濟 學 會

献 辞

菊池光造先生は、本年9月5日、63歳の誕生日をお迎えになり、来年3月31日をもって本学を退官されることになりました。

先生は、1961年に本学をご卒業の後、同大学院経済学研究科に進まれました。1966年からの岡山大学経済学部での勤務を経て、1977年本学経済学部助教授として赴任、1984年に教授に昇任されました。

先生は、労使関係研究の第一人者として、学界に大きな影響を与えられました。とくに、イギリス鉄鋼業における緻密な労使関係研究は、『現代イギリスの労使関係』（1987年）に結実しています。この研究は現在でもイギリス労使関係の基本文献であるとともに、最高の水準を維持しております。先生の研究の深さを示すものと申せましょう。

もちろん、菊池先生の本学部における貢献は、これだけにとどまりません。1995年4月から2年間、本学部長・大学院研究科長という重責を果たされました。この期間は大学院重点化という学部にとって一大転機の時期でありましたが、故浅沼万里学部長の遺志を受け継ぎ、これを成功裏に実現させました。わたくしは本学部・大学院研究科を代表して感謝のことばを捧げたいと思います。

さらに、先生は1998年からは京都大学附属図書館長として、全学の中樞に位置し、本学全体の学術研究の基盤整備に力を注いでおられます。このことは、本学部・大学院研究科といたしましても大いなる名誉であるとともに誇りであります。

京都大学経済学会は、先生の多年にわたる学恩に感謝し、「経済論叢」の月号を記念号として編集することといたしました。先生のご指導を受けられた方々の労作を集めて、先生に捧げることが出来ますことは、わたくしどものこのうえない喜びであります。

先生が、今後とも、ますますご健康で、学界のため、また広く社会のため、

ご活躍くださいますことを心からお祈りいたします。

1999年10月1日

京都大学大学院経済学研究科長 西村 周三